

## Kiwi Syslog Server v8 &amp; v9 バージョンヒストリー

Rev.1.0

Kiwi Syslog Server v9.8.3	2024-04-17	3
Kiwi Syslog Server v9.8.2	2023-07-18	4
Kiwi Syslog Server v9.8.1	2022-02-15	5
Kiwi Syslog Server v9.8.0	2021-10-19	6
Kiwi Syslog Server v9.7.2	2021-01-26	8
Kiwi Syslog Server v9.7.1	2020-12-03	9
Kiwi Syslog Server v9.7.0	2020-09-02	9
Kiwi Syslog Server v9.6.7	2019-03-20	10
Kiwi Syslog Server v9.6.6	2018-12-11	11
Kiwi Syslog Server v9.6.5	2018-06-12	12
Kiwi Syslog Server v9.6.3	2017-11-17	12
Kiwi Syslog Server v9.6.2	2017-08-24	13
Kiwi Syslog Server v9.6.1	2017-05-01	13
Kiwi Syslog Server v9.6.0	2017-03-02	13
Kiwi Syslog Server v9.5.2	2016-09-19	14
Kiwi Syslog Server v9.5.1	2016-01-26	14
Kiwi Syslog Server v9.5.0	2015-08-11	14
Kiwi Syslog Server v9.4.2	2015-03-10	15
Kiwi Syslog Server v9.4.1	2013-11-10	15
Kiwi Syslog Server v9.4.0	2013-09-03	16
Kiwi Syslog Server v9.3.4	2012-11-07	16
Kiwi Syslog Server v9.3.3	2012-10-23	17
Kiwi Syslog Server v9.3.2	2012-07-05	17
Kiwi Syslog Server v9.3.0	2012-03-03	18
Kiwi Syslog Server v9.2.1	2010-12-16	18
Kiwi Syslog Server v9.2.0	2010-11-24	18
Kiwi Syslog Server v9.1.0	2010-04-06	19
Kiwi Syslog Server v9.0.3	2009-07-21	20
Kiwi Syslog Server V8		20
Kiwi Syslog Server v8.3.52	2009-02-12	20
Kiwi Syslog Server v8.3.49	ベータ 2008-12-04	20
Kiwi Syslog Server v8.3.48	ベータ 2008-12-03	20
Kiwi Syslog Server v8.3.47	ベータ 2008-10-08	20
Kiwi Syslog Server v8.3.46	ベータ 2008-09-30	20
Kiwi Syslog Server v8.3.44	ベータ 2008-09-11	21
Kiwi Syslog Server v8.3.43	ベータ 2008-09-10	21
Kiwi Syslog Server v8.3.42	ベータ 2008-09-09	21
Kiwi Syslog Server v8.3.41	ベータ 2008-09-08	21
Kiwi Syslog Server v8.3.40	ベータ 2008-09-08	21
Kiwi Syslog Server v8.3.39	ベータ 2008-09-05	21
Kiwi Syslog Server v8.3.38	ベータ 2008-08-25	21
Kiwi Syslog Server v8.3.37	ベータ 2008-08-22	21
Kiwi Syslog Server v8.3.36	ベータ 2008-08-21	21
Kiwi Syslog Server v8.3.34	ベータ 2008-08-12	22
Kiwi Syslog Server v8.3.33	ベータ 2008-07-31	22
Kiwi Syslog Server v8.3.32	ベータ 2008-07-08	22
Kiwi Syslog Server v8.3.31	ベータ 2008-07-07	22
Kiwi Syslog Server v8.3.30	2008-07-07	22
Kiwi Syslog Server v8.3.28	2008-05-26	22
Kiwi Syslog Server v8.3.27	ベータ 2008-05-08	23
Kiwi Syslog Server v8.3.26	ベータ 2008-05-08	23

Kiwi Syslog Server v8.3.25 ベータ	2008-05-06.....	23
Kiwi Syslog Server v8.3.24 ベータ	2008-05-05.....	23
Kiwi Syslog Server v8.3.22 ベータ	2008-04-28.....	23
Kiwi Syslog Server v8.3.21 ベータ	2008-04-24.....	23
Kiwi Syslog Server v8.3.20 ベータ	2008-04-16.....	24
Kiwi Syslog Server v8.3.19 ベータ	2008-04-15.....	24
Kiwi Syslog Server v8.3.18 ベータ	2008-04-02.....	24
Kiwi Syslog Server v8.3.16 ベータ	2008-03-12.....	24
Kiwi Syslog Server v8.3.15 ベータ	2008-03-03.....	24
Kiwi Syslog Server v8.3.14 ベータ	2008-02-28.....	25
Kiwi Syslog Server v8.3.13 ベータ	2008-02-15.....	25
Kiwi Syslog Server v8.3.12 ベータ	2008-02-13.....	25
Kiwi Syslog Server v8.3.11 ベータ	2008-02-12.....	25
Kiwi Syslog Server v8.3.10 ベータ	2008-02-04.....	25
Kiwi Syslog Server v8.3.9 ベータ	2008-02-04.....	25
Kiwi Syslog Server v8.3.8 ベータ	2008-01-25.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.7 ベータ	2008-01-22.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.6 ベータ	2008-01-18.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.5 ベータ	2008-01-17.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.4 ベータ	2008-01-18.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.3 ベータ	2007-12-13.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.2 ベータ	2007-12-03.....	26
Kiwi Syslog Server v8.3.1 ベータ	2007-10-02.....	27
Kiwi Syslog Server v8.3.0 ベータ	2007-09-25.....	27
Kiwi Syslog Server v8.2.20 ベータ	2007-07-02.....	27
Kiwi Syslog Server v8.2.19 ベータ	2007-06-27.....	27
Kiwi Syslog Server v8.2.18	2007-06-12.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.17	2007-06-05.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.16 ベータ	2007-05-21.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.15 ベータ	2007-05-17.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.14 ベータ	2007-05-17.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.13 ベータ	2007-05-16.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.12 ベータ	2007-03-29.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.11 ベータ	2007-03-29.....	28
Kiwi Syslog Server v8.2.10 ベータ	2007-03-27.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.9 ベータ	2007-03-26.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.8	2007-03-06.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.7 ベータ	2007-02-28.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.6 ベータ	2007-02-28.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.5	2007-02-05.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.4 ベータ	2007-02-01.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.3	2007-01-24.....	29
Kiwi Syslog Server v8.2.1	2007-01-08.....	30
Kiwi Syslog Server v8.2.0 ベータ	2006-12-12.....	30
Kiwi Syslog Server v8.1.9 ベータ	2006-10-16.....	30
Kiwi Syslog Server v8.1.6	2006-10-03.....	31
Kiwi Syslog Server v8.1.5 ベータ	2006-09-26.....	31
Kiwi Syslog Server v8.1.4 ベータ	2006-09-20.....	31
Kiwi Syslog Server v8.1.3	2006-08-31.....	31
Kiwi Syslog Server v8.1.2	2006-08-30.....	31
Kiwi Syslog Server v8.1.1 ベータ	2006-08-25.....	31
Kiwi Syslog Server v8.1.0 ベータ	2006-08-23.....	31
Kiwi Syslog Server v8.0.13	2006-08-11.....	32
Kiwi Syslog Server v8.0.12	2006-08-09.....	32
Kiwi Syslog Server v8.0.11 ベータ	2006-08-09.....	32

Kiwi Syslog Server v8.0.10 ベータ 2006-08-08.....	32
Kiwi Syslog Server v8.0.9 2006-08-03.....	32
Kiwi Syslog Server v8.0.8 2006-08-01.....	32
Kiwi Syslog Server v8.0.7 ベータ 2006-07-27.....	32
Kiwi Syslog Server v8.0.6 ベータ 2006-07-06.....	33
Kiwi Syslog Server v8.0.2 2006-05-03.....	33
Kiwi Syslog Server v8.0.1 2006-04-03.....	33
Kiwi Syslog Server v8.0.0 ベータ 2006-03-22.....	33

## Kiwi Syslog Server v9.8.3 2024-04-17

### 新機能と改善点:

Kiwi Syslog Server 9.8.3 は、以前のバージョンと比較して新しい機能と改善を提供します

- ・ Microsoft Windows Server 2022 のサポート

Kiwi Syslog Server 9.8.3 は、セキュリティ機能、ハードウェア互換性、パフォーマンス、サーバー接続間の効率性を強化するために Microsoft Windows Server 2022 をサポートするようになりました。Windows Server 2022 の詳細については、[「What's New in Windows Server 2022」](#) (英語)、または、[「Windows Server 2022 の新機能」](#) (日本語) を参照してください。

- ・ Microsoft Visual C++ 再頒布可能コンポーネントをアップグレード

Kiwi Syslog Server インストールに必要であった Microsoft Visual C++ 2010 および 2013 (x86) 再頒布可能コンポーネントは、パフォーマンス、Windows との互換性、Kiwi Syslog Server 9.8.3 のサポートの向上のために、Microsoft Visual C++ 2015-2019 再頒布可能 (x86) バージョンにアップグレードされました。

注意： シスログを別のホストに転送するには、Microsoft Visual C++ 2013 (x86) 再頒布可能コンポーネントが必要です。Microsoft Visual C++ 2010 (x86) 再頒布可能コンポーネントは、Kiwi Syslog Server には不要になりましたので削除してください。

- ・ Kiwi Web Access の暗号化の改善

Kiwi Web Access のパスワード保存セキュリティ方式が更新され、SHA2 アルゴリズムを使用するようになりました。

- ・ その他の改善点

- IPWorks ライブラリがバージョン 2022 に更新されました。

### KSS 9.8.3 で修正された問題：

KSS 9.8.3 では、次の問題が修正されています。

ケース番号	説明
01019736, 01012915, 01016094, 01021853, 01019218, 01025851, 01019052, 01042781, 01020713, 01044325, 01025070, 01013316, 01209691, 01222636, 01279552, 01282005, 01297119	統計診断レポートの電子メールで壊れていた HTML 形式が修正されました。
01440813	Kiwi Syslog Server をアンインストールしても、Kiwi Web Access データベース フォルダは削除されなくなりました。

01417127, 01416757	Kiwi Web Access のポート番号は、ポート 443 にハードコーディングされなくなりました。ポート番号を任意のポート番号に変更できるようになりました。
01434542	「Log to Loggly」アクションは、意図したとおりにメッセージを loggly.com に転送するようになりました。

サポート終了 (End of life) およびサポート終了の通知

EOL バージョン	EoL アナウンス	EoE 発効日	EoL 発効日
KSS 9.8.2	2024年4月17日:サポート終了 (EoL) の発表 - KSS 9.8.2 を使用しているお客様は、サポート中の最新バージョンの KSS への移行を検討してください。	2024年6月17日:エンジニアリング終了 (EoE) - KSS 9.8.2 のサービス リリース、バグ修正、回避策、およびサービス パックは、SolarWinds によってサポートされなくなります。	2025年6月17日:サポート終了 - SolarWinds は KSS 9.8.2 のテクニカル サポートを提供しなくなります。
KSS 9.8.1 以前 (9.8.1/9.8.0/9.7.2/9.6.7)	2023年7月18日:サポート終了 (EoL) の発表 - KSS 9.8.1 を使用しているお客様は、サポート中の最新バージョンの KSS への移行を検討してください。	2023年8月18日:エンジニアリング終了 (EoE) - KSS 9.8.1 のサービス リリース、バグ修正、回避策、およびサービス パックは、SolarWinds によってサポートされなくなります。	2024年8月18日:サポート終了 - SolarWinds は KSS 9.8.1 のテクニカル サポートを提供しなくなります。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.8.2 2023-07-18

新機能と改善点:

Kiwi Syslog Server 9.8.2 は、以前のバージョンと比較して新しい機能と改善を提供します

- Kiwi Web Access の新しいデータベース管理

Kiwi Web Access は、効率を向上させ、より合理的なユーザー操作性を提供するために、Microsoft SQL Server Compact の代わりに Microsoft SQLite を利用するようになりました。

- Kiwi Web Access インストーラーの新しいオプション

Kiwi Syslog Server インストーラー内に Kiwi Syslog Web Access 用の新しいインストーラーが用意されました。これにより Kiwi Web Access のセットアップに必要な前提条件をリストアップし、どの前提条件が欠けているかを検出し、不足している前提条件のインストールを支援します。

- インストールログ

ユーザーはインストール ログを表示して、KSS インストール プロセスに関連する問題のトラブルシューティングを行うことができるようになりました。デフォルトのインストール ログ ファイルのパスは C:\Program Files (x86)\Syslogd\install.txt です。

※ジュピターテクノロジー補足:

初期リリース (v9.8.2.33878) では、install.txt ではなく、C:\Program Files (x86)\Syslogd\install.log に記録されます。

その他の改善点:

• 新バージョンのエンドユーザー使用許諾契約書 (END USER LICENSE AGREEMENT) は、KSS インストール中のインストーラーウィンドウと KWA セットアップのウィンドウでご覧いただけます。

- 一般的なセキュリティの改善。

修正された問題:

- KSS からソフトウェア更新をチェックするときにエラーメッセージが表示されなくなりました。
- Kiwi Web Access の公開鍵 (パブリックキー) がセキュリティポリシーと一致するようになり、より強力な鍵交換が作成できるようになりました。

※ジュピターテクノロジー補足: 鍵長が 1024bit だけであったのが 2048bit が利用可能となりました。

- Kiwi Web Access は、データベース管理に Microsoft SQL Server Compact の代わりに Microsoft SQLite を使用するようになりました。

サポート終了 (End of life) およびサポート終了の通知

EOL バージョン	EOL のお知らせ	EOE 発効日	EOL 発効日
9.8.1 以前 (9.8.1/9.8.0/9.7.2/9.6.7)	2023 年 7 月 18 日	2023 年 8 月 18 日	2024 年 8 月 18 日

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.8.1 2022-02-15

新機能と改善点

Kiwi Syslog Server 9.8.1 では、以前のバージョンと比較して新機能や改良点を提供しています。

- ASLR セキュリティをサポート  
Kiwi Syslog Server は、ASLR (address space layout randomization/アドレス空間配置のランダム化) セキュリティ技術をサポートするようになりました。ASLR は、ユーザーにさらに安全な環境を提供し、悪用される攻撃を防ぎます。
- TLS 1.3 プロトコルをサポート  
Kiwi Syslog Server は、受信メッセージの TLS 1.3 接続プロトコルをサポートするようになりました。TLS 1.3 は、より高速なサービスを提供し、接続間の遅延を短縮することで、ユーザーにメリットをもたらします。

修正された問題:

ケース番号	説明
該当なし	Kiwi Syslog Web Access v9.8.0 をインストール時に IIS 設定の認証で、匿名認証が有効となっていた問題は解決されました。(v9.8.1 では匿名認証は無効でインストールされます)
00933027	Kiwi Syslog Web Access が<>タグでメッセージをフィルタリングする際に、ステータスコード 500 のエラーをスローする問題は解決されました。
00426205	(9.4.1 と 9.5 で発生していた).INI ファイルに不完全な設定を出力する問題が解決されました。

00344705	Kiwi Syslog Server のインストーラーが解凍後に終了する問題は解決されました。
00056256, 00330427, 00397060, 00477346, 00301780, 00056256	HTML と設定したメールがテキストメールとして受信される不具合が修正されました。
00533772, 00616919, 00674194, 00773505, 00626150, 00624897, 00937153, 00924894, 00944622	Kiwi Syslog Web Access のインストール時に、DLL が見つからないという問題が解決されました。
00905736, 00936217, 00869274, 00897152, 00900551, 00893841, 00893841, 00927293	MIB データベースが更新されました。
00884679, 00967338	Kiwi Syslog Web Access において、Admin タブの Account Maintenance フォームで 10 ユーザーまでしか表示されない問題は解決されました。
00923874, 00923874, 00937841	Appearance 設定で、スキン選択後に ActiveSkin 試用ダイアログ「Trial version is ActiveSkin control」のポップアップが表示される不具合が修正されました。
00954730	TLS 証明書の設定中に Kiwi Syslog Server がクラッシュする問題は解決されました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.8.0 2021-10-19

### 新機能と改善点

Kiwi Syslog Server 9.8 は、以前のバージョンの Kiwi Syslog Server と比較して新しい機能と改善を提供します

- Microsoft SQL Server 2019 のサポート  
Kiwi Syslog Server は、Microsoft SQL Server 2019 データベースをサポートし、メッセージを正常に書き込むようになりました。
- Kiwi Web Access 用の新しいインターネットインフォメーションサーバー (IIS) Web サーバー  
UltiDev Web Server は非推奨になり、Kiwi Syslog Server はインターネットインフォメーションサーバー (IIS) を利用して、最新の安全な Web サービスを提供するようになりました。
- SNMPv3 クレデンシャルのサポート  
Kiwi Syslog Server は、ユーザー名、認証パスワード、プライベートパスワード、アルゴリズム、セキュリティレベルの値など、SNMPv3 ユーザー資格情報を追加および削除する機能をサポートするようになりました。詳細については、以下の修正された問題を参照してください。
- ライセンスフレームワークのアップグレード  
Kiwi Syslog Server 9.8 は、SolarWinds ログ製品 (Kiwi Syslog Server) と組み合わせて使用する最新の SolarWinds ライセンスフレームワーク (Kiwi Syslog Server ライセンス登録用) を提供します。
- 更新された jQuery ライブラリ



Kiwi Syslog Server の Kiwi Web Access 機能で使用される jQuery ライブラリがセキュリティ強化のためバージョン 3.6.0 に更新されました。

- .NET Framework バージョン 2.0 および 3.5 の削除

Kiwi Syslog Server は、顧客セッションと Cookie のセキュリティを向上させるために、.NET Framework 2.0 および 3.5 を必要としなくなりました。詳細については、以下の修正された問題を参照してください。

修正された問題：

- KiwiSyslogLicensor.exe アプリケーションがデジタル署名されました。
- SNMPv3 資格情報は、サービスをクラッシュさせることなく適切にエクスポートされるようになりました。
- UTF-8 シンボルが、(Kiwi コンソール上の)Display アクションフィールドとテキストフィールド(例：Log to file アクションの保存先)に正しく表示されるようになりました。  
KSS の以前のバージョンには、Unicode 文字 (UTF-8) が「Display」および「Log to file」アクションで正しく表示されないという既知の問題がありました。アクション「Display」のオプション「Is message sent as Unicode」(メッセージは Unicode として送信されます) が KSS v9.8.0 で追加されました。
- HTTP セキュリティヘッダーが検出可能になりました。
- Windows の引用符で囲まれていないパスの脆弱性が解決されました。以下の CVE を参照してください。
- License Manager バージョン 2.0.0.732 が正しくロードされるようになりました。
- セッション識別子が更新され、潜在的な脆弱性が解決されました。以下の CVE を参照してください。
- HTTP TRACK および TRACE の脆弱性が解決されました。以下の CVE を参照してください。
- ソフトウェアバージョンが、HTTP ヘッダーで表示されなくなりました。
- ユーザーは、Kiwi Web Access の Events タブからフィルターを保存できるようになりました。
- 同一コンピューターに Kiwi CatTools 3.11.8 もインストールしているユーザーは、Kiwi Syslog Server のセットアッププロセスを継続することが可能となりました。
- .NET CLR は、潜在的な FIPS の脆弱性を示さなくなりました。以下の CVE を参照してください。
- ユーザーが Web Access ポータルの Events タブにアクセスしようとしたときに、HttpUnhandledException エラーを受け取らなくなりました。
- ユーザーは、Kiwi Web Access ポータルでフィルターを適切にインポートできるようになりました。
- カスタム変数を渡すスクリプトが期待どおりに機能するようになりました。
- Npcap を使用したなりすまし転送中に、ユーザーがプライオリティ情報を失うことはなくなりました。
- Npcap スプーフィング (なりすまし) で「hostname」が宛先として使用されている場合に失敗しなくなりました。
- ユーザーは、Web Access ポータルの Admin タブでパスワードをリセットできるようになりました。
- ロシア語のファイルは、インストールパッケージで検出されなくなりました。
- 「Forward to another host」アクションの New Facility と New Level のオプションにおいて正しく名前が付けられるようになりました。

## CVE

CVE(Common Vulnerabilities and Exposures, 脆弱性を識別するための共通脆弱性識別子)

SolarWinds は、責任を持って問題を報告し、セキュリティ、製品、エンジニアリングの各チームと協力して脆弱性を修正してくれた以下のセキュリティ研究者に感謝します。

CVE-ID	脆弱性のタイトル	説明	重大度	クレジット
CVE-2021-35233	HTTP TRACK および TRACK メソッドが脆弱性を	HTTP TRACK & TRACE メソッドは、Kiwi Syslog Server 9.7.1 およびそれ以前で有効でした。これらの方法は、診断のみを目的としています。	中 く	該当なし

	有効にする	<p>有効になっている場合、Web サーバーは、これらの方法を使用するリクエストに対して、受信した HTTP リクエストをそのままクライアントに返すことで応答します。</p> <p>このため、リバースプロキシによって付加された内部認証ヘッダーなどの機密情報が漏えいする可能性があります。</p>	低い	
CVE-2021-35235	ASP.NET デバッグ機能の有効化	<p>Kiwi Syslog Server 9.7.1 では、ASP.NET デバッグ機能がデフォルトで有効になっています。ASP.NET は、そのように設定されている場合、Web アプリケーションのリモートデバッグを可能にします。デバッグモードでは、ASP.NET は追加情報を含むアプリケーションをコンパイルします。この情報により、デバッグはアプリケーションの実行を詳細に監視および制御することができます。</p> <p>攻撃者がリモートデバッグセッションを開始することに成功した場合、Web アプリケーションおよびサポートするインフラストラクチャに関する機密情報が開示される可能性があります、これは悪意を持って SolarWinds Inc.を標的にする際に貴重な情報となる可能性があります。</p>	中くらい	該当なし
CVE-2021-35236	SSL Cookie からの安全なフラグがありません	<p>Kiwi Syslog Server 9.7.1 の SSL Cookie に Secure フラグが設定されていません。Secure 属性は、リクエストが HTTPS などの安全なチャネルを介して送信されている場合にのみ Cookie を送信するようにブラウザに指示します。これにより、Cookie が暗号化されていないリクエストに渡されるのを防ぐことができます。アプリケーションが両方の HTTP を介してアクセスできる場合、Cookie が平文で送信される可能性があります。</p>	低い	該当なし
CVE-2021-35237	クリックジャッキングの脆弱性	<p>Kiwi Syslog Server の HTTP ヘッダ (X-Frame-Options) の欠落により、お客様がクリックジャッキングの被害に遭う可能性があります。</p> <p>クリックジャッキングとは、攻撃者がウィンドウ内の透過的な iframe を使用してユーザーを騙し、ボタンやリンクなどのアクション可能なアイテムをクリックさせて、同一のウェブページを持つ別のサーバーに移動させることで発生する攻撃です。攻撃者は基本的に、元のサーバーに向けられたユーザーの行動をハイジャックして、他のサーバーに送信します。これは、ユーザーとサーバーの両方に対する攻撃です。</p>	中くらい	該当なし
CVE-2021-35231	引用符で囲まれていないパスの脆弱性 (SMB ログイン)	<p>Kiwi Syslog Server のインストールウィザードに存在する引用符で囲まれていないサービスパスの脆弱性の結果、ローカルの攻撃者は、影響を受けるサービスのパス、またはアンインストールエントリのパスに実行ファイルを挿入することで、昇格した権限を得る可能性があります。</p> <p>脆弱なパスの例： Computer¥HKEY_LOCAL_MACHINE¥SYSTEM¥ControlSet001¥Services¥Kiwi Syslog Server¥Parameters¥Application</p>	中くらい	David Rickard Danijel Grah

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.7.2 2021-01-26

改善点：

Kiwi Syslog Server は、新しいコードサイン証明書で署名されています。

以下「重要なお知らせ」もご参照ください。



[SolarWinds 製品 \(Kiwi 製品含む\) のコードサイン証明書更新に伴うアップデートのお願い \(2021 年 1 月 20 日付\)](#)

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.7.1 2020-12-03

修正された問題：

- Kiwi Syslog Server は、クロスフレームスクリプトを防止できるようになりました。
- 標準ユーザーは、自分の権限を昇格できなくなりました。
- Kiwi Syslog Server は、SNMP トラップを正しい OID 順序で正しく受信するようになりました。
- Kiwi Web Access の .NET Framework と ASP.NET AJAX の Telerik UI は、クロスサイトスクリプティングを防ぐために最新バージョンに更新されています。
- Kiwi Syslog Server は、ブラインド SQL インジェクションを防止できるようになりました。
- Kiwi Syslog Web サーバーには、パブリックインデックス作成を防ぐための robots.txt ファイルが含まれるようになりました。
- Kiwi Syslog Server では、暗号化された SSL セッションの Kiwi Cookie に Secure 属性が設定されるようになりました。
- Kiwi Syslog Server は、クロスサイトリクエストフォージェリの攻撃から保護されるようになりました。
- Web アプリケーションの SSL ページはキャッシュされなくなりました。
- カスタムフォーマット値のミリ秒単位において、機能的なゼロパディング(ゼロ埋め)が含まれるようになりました。
- Kiwi Web Access ユーザーは、[Hostname]フィールドと[Message text]フィールドを強調表示できるようになりました。
- カスタム変数が認識され、正しく渡されるようになりました。
- 英語以外の言語で Windows を使用している Kiwi Web Access ユーザーは、MicrosoftAjax エラーを受け取らなくなりました。その結果、[Highlighting]オプションと[Filters]オプションが正しく機能するようになりました。
- KSS\_Service または KSS\_Manager によって処理されたログファイルは、ロックされなくなりました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.7.0 2020-09-02

新機能と改善点：

- “Log to Database - New Bulk Insert”アクション  
新しい「Log to Database - New Bulk Insert」アクションの利用で、データベースへ一括挿入で実行できるようになり、ユーザーは 1 回のデータベース呼び出しで複数のイベントを挿入できるようになりました。
- Windows Server 2019 のサポート  
Kiwi Syslog Server は、メッセージとイベントの転送と受信について Windows Server 2019 をサポートするようになりました。
- “Log to Loggly.com”アクション  
ユーザーは、新しい「Log to Loggly.com」アクションで、Kiwi Syslog Server から SolarWinds 社のログ管理ソリューション Loggly(有償)にログを転送することで、メッセージを監視、検索、反応し、およびアーカイブする機能を使用できるようになりました。

- SNMP Spoofing(“Send SNMP Trap”アクションでのなりすまし転送)  
SNMP パケットをスプーフィングする機能 (なりすまし転送機能) が利用できるように修正されました。転送されたパケットは、Kiwi Syslog Server の IP アドレスではなく、送信元デバイスの IP アドレスから直接送信されたようにみえます。
- Npcap ライブラリにアップグレード  
“転送時のなりすましは、以前のバージョンで利用していた WinPcap を置き換えて、Npcap ライブラリを使用するようになりました。  
ユーザーは、WinPcap をアンインストールし、Npcap をインストールして、パケットのなりすましが意図したとおりに機能し続けるようにする必要があります。  
なりすまし転送は、“Forward to another host”アクション、“Send SNMP Trap” アクションで可能です。  
各アクションについては[ユーザーマニュアル](#)を参照してください。
- .NET Framework 4.8  
Kiwi Syslog Server は、Microsoft .NET Framework 4.8 をサポートして、ユーザーエクスペリエンスを強化します。
- 複数のテストメッセージを送信(Test message)  
Kiwi Syslog Server 9.7 の Setup ウィンドウの Test message 機能に複数のテストメッセージを生成する”Number of messages to generate”オプションが追加されました。

#### 修正された問題：

- ユーザーがセキュリティ上の懸念に対する解決策を要求しました
- ユーザーが ASP.NET Debug メソッドを無効にするように要求しました
- ユーザーが Kiwi Web Access ポータルにアクセスできない
- ユーザーが SNMP トラップを送信するときに元の送信元アドレスを保持できない
- SNMP スプーフィングに使用される WinPcap を、Npcap へアップグレード要求
- ユーザーは無料版の Kiwi Syslog Server で無制限の IP アドレスから syslog を受信していました
- ユーザーが .NET Framework 4.0 のサポートを要求

#### [Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

### Kiwi Syslog Server v9.6.7 2019-03-20

#### 修正された問題：

- Kiwi Syslog Server は TCP プロトコル接続でメッセージを受信、収集、そして記録することができます。
- Kiwi Syslog Server は、Kiwi Syslog Web Access へのログイン時にユーザー名とパスワードのフィールドへの自動入力をしなくなりました。これにより、不正なユーザーのアクセス防止になります。
- Kiwi Syslog Server は、すべての Kiwi Web Access ユーザーアカウントに対して強力なパスワードポリシーを適用するようになりました。  
Kiwi Web Access パスワードポリシー：
  - ユーザーアカウントの場合は最低 8 文字、管理者アカウントの場合は最低 15 文字
  - 大文字と小文字の両方、数字、および少なくとも 1 つの特殊文字を含める必要があります
  - ユーザー名と同じにすることはできません
- KSS MIB の kiwi-enterprise-V2.mib ファイルは、Kiwi Syslog Server のインストールファイルに含まれています。  
(Syslogd/MIBs 内。Action: Send SNMP Trap のデフォルト OID 用の MIB データ)
- Kiwi Syslog Server の各 TCP 接続は独立したスレッドで処理されるため、TCP を介してログメッセージが送信されない場合に接続の切断やクラッシュを防ぐことができます。

- Web アクセス Active Directory の認証設定「ドメイン URL」、「認証タイプ」、「ユーザーグループ」が、ドメインユーザーアカウントでログインに失敗した後も失われることはなくなりました。
- SMTP プロトコルを使用している場合、Kiwi Syslog Server は RSET コマンドを送信しなくなりました。

既知の問題：

- カスタム Python スクリプトが期待通りに実行されない。  
問題： Kiwi Syslog Server 上で実行した場合、ユーザー作成の Python または Visual Basic スクリプトが期待通りに実行されません。  
解決方法：[こちら](#)の PDF 内、「解決」を参照してください。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.6.6 2018-12-11

新機能と改善点：

- SNMP v3 の Advanced Encryption Standard (AES) サポート  
SNMP v3 では、最新の AES-256 暗号化を使用したデータ送信がサポートされるようになりました。これにより、Kiwi Syslog Server 9.6.6 で、電子データを送信するために最高の暗号化規格を利用可能になります。
- Kiwi Web Access における Microsoft SQL Server Compact v4.0 のサポート  
Kiwi Syslog Server 9.6.6 では、MS SQL Server Compact をバージョン 4.0 以上にアップグレードすることができます。現在サポート終了となった MS SQL Server Compact 3.5 から MS SQL Server Compact 4.0 にアップグレードすることにより、MS SQL Server は脆弱性セキュリティスキャンで検知されません。

その他の改善点：

このリリースには、最新の MIB データベース (Management Information Base) のアップデート (更新日：2018/11/30 22:09) が含まれています。

修正された問題：

- Kiwi Syslog Server は、Kiwi Syslog Service Manager で SNMP 設定を変更した後にクラッシュしなくなりました。
- syslog メッセージは、TCP 接続を使用しているデバイスから KSS に正しくログインするようになりました。KSS はネットワークデバイスへの TCP Syslog 接続を切断しなくなりました。

既知の問題：

カスタム Python スクリプトが期待通りに実行されない。

問題： Kiwi Syslog Server 上で実行した場合、ユーザー作成の Python または Visual Basic スクリプトが期待通りに実行されません。

解決方法：[こちら](#)の PDF 内、「解決」を参照してください。

サポート終了 :

- Kiwi Syslog Server の将来のバージョンにおいて、Windows Server 2012, 2012 R2 プラットフォームをサポートしません。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.6.5 2018-06-12

新機能と改善点 :

- TLS 1.2 サポート  
バージョン 9.6.5 以降、Kiwi Syslog Server ユーザーは TLS 1.2 経由で新しい TLS 標準に準拠した接続が可能になりました。

その他の改善点 :

- このリリースには、最新の MIB データベース (Management Information Base) のアップデート (更新日 : 2018/06/05) が含まれています。

修正された問題 :

- Kiwi Syslog Server は予期しない中断なしに受信した SNMP トラップを正しく処理するようになりました。

サポート終了 :

- Kiwi Syslog Server 9.4 は 2018 年 5 月 28 日にサポートが終了しました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.6.3 2017-11-17

修正された問題 :

- 9.6.3 では非推奨の HTTP は無効になり、他の HTTP には適切な保護があります。(Kiwi Web Access で、HTTP アクセスにおける脆弱性が修正されました。)
- Kiwi Syslog Service Manager プログラムの実行を継続するためのメモリ不足に関する問題を解決しました。
- "Error: Connection is aborted due to timeout or other failure"  
「エラー : タイムアウトまたはその他の障害のために接続が中止されました」イベントが出力された場合に、Syslogd サービスが自動的にリセットし対処します。
- TCP の処理速度が遅いという問題を解決しました。
- Kiwi Syslog Service Manager は、利用可能なソフトウェア・アップデートをチェックする際にエラーメッセージを生成しなくなりました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.6.2 2017-08-24

修正された問題：

- Kiwi Syslog Server をバージョン 9.6.0 からバージョン 9.6.1 にアップグレードした際の問題を修正しました。
- OID 1.3.6.1.6.3.1.1.5 の SNMP トラップは、generic-type= "Authentication failure"として処理されます。
- OID 1.3.6.1.6.3.1.1.5 の SNMP トラップは、generic-type 4 として扱われ、generic-type 5 として扱われません。
- Windows からの SNMP メッセージのフォーマットが修正されました。9 より大きい SNMP トラップ番号値が切り捨てられなくなりました。
- TCP 経由で送信されたデータを正しく処理できるようになりました。
- Windows Overflow は 32,767 以上の specificTrap\_num で SNMP トラップを処理可能となりました。
- 0 より大きい特定のトラップ番号の値は、SNMP トラップメッセージで切り捨てられません。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.6.1 2017-05-01

修正された箇所：

- Kiwi Syslog Server は多くのディスク領域を消費する大きな SolarWinds.SyslogServer.Engine.log ファイルを作成しなくなりました。
- Kiwi Syslog Server 診断情報に、すべてのタイプ(UDP, TCP, SNMP または、Secure TCP)のメッセージのバッファ使用状況が正しく表示されるようになりました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.6.0 2017-03-02

新機能と改善点：

- SNMP Trap 転送の改善 - 前バージョンまでは、SNMP Trap は文字列に変換され、Syslog メッセージとして転送されたため、メッセージ内の MAC アドレスが正しく表示されない場合がありましたが、このバージョンでは、元のトラップ情報を保持しながら SNMP トラップを転送するように改善されました。
- データベースメンテナンスの改善 - “Log to Database”アクションに、古いメッセージを削除してデータベースをクリーンアップするオプションが追加されました。データベースのメンテナンス機能を使用して、Microsoft®SQL Server のデータベースから指定した日数より古いメッセージは自動的に削除(Truncate)されます。
- パフォーマンスの改善 - Syslog (UDP & TCP) および SNMP トラップ収集時のパフォーマンスが改善しました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

**Kiwi Syslog Server v9.5.2** 2016-09-19

修正 :

- 引用符で囲まれていないサービスのパスがある場合に、悪質なユーザーによって権限を昇格して使用される Microsoft Windows の脆弱性に対する問題が修正されました。

この脆弱性の詳細は、以下のリンクをクリックしてください。

- <http://www.commonexploits.com/unquoted-service-paths/>
- <https://isc.sans.edu/diary/Help+eliminate+unquoted+path+vulnerabilities/14464>

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)**Kiwi Syslog Server v9.5.1** 2016-01-26

修正 :

- 標準ユーザーまたは管理者が Kiwi Syslog Server (KSS)のコンソールを起動したときに、ユーザーアクセス制御(UAC)プロンプトを提供しない問題を修正。
- Kiwi Syslog Server におけるメモリークの問題を修正。
- "Type Mismatch error" (タイプの不一致エラー) という受信メッセージの解析中に Kiwi Syslog Server がクラッシュ (強制終了) する問題を修正。
- Kiwi Syslog Server の設定で、Input>Secure TCP 設定したときに指定したポートをバインドすることができない問題を修正。

既知の問題 :

- 2003 オペレーティングシステム上での Kiwi Syslog Server で Log to Database アクションを問題なく使用するには、Microsoft のパッチ(Windows Server 2003-KB983246)が必要です。
- Kiwi Syslog Server - IP フィルタマスク設定は、IPv4 でのみ使用可能です。
- IPv6 形式を使用して別のホストにトラップを転送時、送信元アドレスを保持することはできません。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)**Kiwi Syslog Server v9.5.0** 2015-08-11

新機能と改善点 :

- IPv6 をサポート
- 新しいアクションを追加 : Log to Papertrail Cloud  
(クラウドベースのサーバー Papertrail に Syslog メッセージを記録)
- SNMP v1、v2、および v3 トラップの転送をサポート
- SNMP v3 トラップの送信 / 受信をサポート
- 出力時に TrapVarBinds エlementを許可
- 統計レポートのメール送信機能に毎週/毎月が追加され、レポート期間を明記。(毎時/毎日/毎週/毎月を選択可能)



- Kiwi Web Access のユーザーアカウントが 5 人までの制限解除  
-複数の管理者(Administrator)および標準(Standard)ユーザーアカウントの設定が可能

修正：

- Kiwi Syslog Server v9.4.2 から v9.5 RC1 への Web Access アップグレードの問題を修正
- Kiwi Syslog Server - 統計レポート内で同一サーバーが重複してエントリ表示される問題を修正
- Kiwi Syslog Server - 統計レポート内のメッセージカウントが適切に午前 0 時にリセットされていなかった問題を修正
- Kiwi Syslog Server - 統計レポートに表示されるホスト数をカスタマイズ可能

既知の問題：

- 2003 オペレーティングシステム上での Kiwi Syslog Server で Log to Database アクションを問題なく使用するには、Microsoft のパッチ(Windows Server 2003-KB983246)が必要です。
- Kiwi Syslog Server - IP フィルタマスク設定は、IPv4 でのみ使用可能です。
- IPv6 形式を使用して別のホストにトラップを転送時、送信元アドレスを保持することはできません。

詳細については、[「v9.5.0 リリースノート」](#)をご確認ください。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.4.2 2015-03-10

修正：

- Windows Server 2012 R2 システム上でのサポートが追加されました。
- Windows 2012 物理システム上の Kiwi Syslog Server サービスのスタートアップの問題が解決されました。
- Kiwi Web Access 使用時に、CPU 使用率が高くなる問題を最適化しました。
- Kiwi Web Access のセッションタイムアウトの問題が解決されました。
- FIPS が有効なシステムに、Kiwi Web Access をインストールするためのサポートが追加されました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.4.1 2013-11-10

修正：

- Syslog を転送すると、送信元ポートが"0"と表示されていた件の修正
- 統計メールで、Cisco のデータが欠落または誤っていた部分の解決
- Kiwi Web Access - イベント保持期間に基づいた(Based on Event age)データベースメンテナンスの問題の解決
- Kiwi Syslog Server のスキン（外観）の変更中に表示される"Active Skin Control message"を削除

インストール手順：

- Version 9.4 は新しいウェブサーバーが含まれています。インストール中に以前のバージョンの Kiwi Web Access ファイルを手動でアンインストールするよう求められる場合があります。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.4.0 2013-09-03

追加 :

- 新しい UltiDev Web サーバーの実装
- Web Access のための Active Directory 認証
- Web Access 用の SSL (HTTPS) のサポート
- メッセージキューモニターで閾値監視によるアラート通知

修正 :

- アラートおよびレポートでバッファ統計情報が利用可能となりました。
- Syslog でミリ秒単位がゼロと表示される問題が修正されました。
- データベースメンテナンスの設定が Kiwi Syslog Web Access で反映されない問題を修正しました。
- Kiwi Syslog Web Access で"Maximum Event Age"の設定が動作しない問題を修正しました。
- Schedule>Archive : Destination タブ内ラジオボタンのテキストが非表示であった問題を修正しました。
- ライセンス登録をキャンセルした時に誤ったバージョン表示される問題を修正しました。
- Play Sound を設定しても音が再生されない問題を修正しました。
- Oracle のデータベースの ODBC リンクが作成された時に Syslogd サービスがクラッシュする問題を修正しました。
- Oracle 11G 接続が動作しない問題を修正しました。
- Diagnostics file (診断ファイル) に全てのデバイスリストが表示される問題を修正しました。
- Help のサポート URL が有効ではない問題を修正しました。
- Input>SecureTCP : "Certificate store"のプルダウンより"UserDS"を選択すると Syslog サービスがクラッシュする問題を修正しました。
- Action>Log To File のデフォルトパスでファイル名の自動分割が使用されていない問題を修正しました。

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.3.4 2012-11-07

修正 :

- 日別統計とアラームメッセージを HTML フォーマットの電子メールで送信するとタグ付きで表示されてしまうという問題が修正されました
- File > Setup で変更された項目がサービスを再開しないと反映されないという問題が修正されました

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.3.3 2012-10-23

### 新機能：

- 製品保守契約更新の自動お知らせ
- Windows 8 x32、x64 のサポート
- Windows Server 2012 x64 のサポート
- SQL Server 2012 のサポート
- Internet Explorer 10 のサポート
- SolarWinds 社 License Manager のサポート

### 修正：

- <and>タグを含む電子メールを送信すると、<and>タグが送信した電子メールに表示されてしまうという問題が修正されました

### 既知の問題：

- File > Setup > Rules > Action で、"Play a sound" (音を鳴らす)を選択した場合に、"Play sound once"(一回だけ鳴動)を選択していると、アクションが実行されない  
推奨回避策として、"Play sound n times" の "n" に 2 以上の数を入力します

### その他：

- このバージョンから、ライセンスキー登録を SolarWinds 社のライセンスマネージャにて行うようになりました

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.3.2 2012-07-05

### 新機能：

- 管理コンソールの「display」が、10→25 画面に
- Action の「E-mail Message」において、SSL/TSL 送信をサポート

### 修正：

- (WebAccess)フィルターの Add または Delete をクリックすると、ブラウザが「500 エラー」を出力する
- スケジュール>アーカイブにおいて、「File Age」(アーカイブ対象を、ファイルの作成日時で絞込み)を選択した際の不具合
- (アプリケーションモードの場合)起動後数分間反応しない

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

**Kiwi Syslog Server v9.3.0** 2012-03-03

## 新機能：

- (WebAccess)フィルターが「public」(=すべてのユーザに適用)か否かの選択を付加
- Action の「Log to File」における、Auto Split の Message Text(メッセージ本文)に、「Serial Number(WELF Format)」を追加
- プロキシサーバ経由でも、製品のアップグレードチェックが可能に
- Action の「Email Message」に、%Rule Name を追加
- DNS 名前解決に失敗した場合、IP アドレスをログに出力
- Error Log に、当該スクリプト名およびルール名を出力

## 変更点：

- WebAccess のバージョン 1.4.0

## 修正：

- (WebAccess)日付フィルターが正しく動作しない
- (WebAccess)コラム(表示させるフィールド)削除が正しくされない
- (WebAccess)ログインゲートウェイにおける、Dos(サービス拒絶)攻撃に対する脆弱性
- Input Source フィルターが正しく機能しない
- MySQL フォーマットにおいて、アンダースコア(\_)のエスケープが正しく機能しない
- フリーウェアモードから評価モードへの切り替え、あるいはその逆において、"Retain displayed messages between restarts"(再起動前、ディスプレイに表示されたメッセージを保持)を OFF にしておかないと正しく切り替わらない
- Syslog 日次統計のフォーマット不正
- Enable にしておかなくとも、外部 IP アドレスが、外部 DNS サーバによって解決されてしまう

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

**Kiwi Syslog Server v9.2.1** 2010-12-16

## 修正：

- 9.2.0 にて、WebAccess に接続できない

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

**Kiwi Syslog Server v9.2.0** 2010-11-24

## 機能追加：

- 複数のウェブアクセスアドミニあるいはユーザーアカウントの作成
- トランスポートレイヤーセキュリティ (TLS) を使った安全なシスログメッセージ通信
- csv フォーマットでのウェブコンソールイベントメッセージのエクスポート

## 変更：

- 改善されたデータベースメンテナンス
- Kiwi Syslog Server インストーラーがデジタル署名されました

修正：

- Cassini ウェブサーバーエクスプローラーにおけるセキュリティの脆弱性を除去
- WINNT のプラットフォーム上で Web Access のインストールが失敗する問題を修正
- スペースを含む文字列にハイライト機能がマッチしない問題を修正
- 有効な電子メールアドレスが拒否される問題の修正
- テックサポートファイルを作成できません (Can't create Tech-support) (エラーコード 530) の修正
- IP アドレスの切り捨てにともなう mswinsck.ocx 問題の修正
- アクティブスキンの試用版エラーダイアログの修正
- URL の検出アルゴリズムが、URL パラメータを考慮しない問題の修正

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

## Kiwi Syslog Server v9.1.0 2010-04-06

機能追加：

- 新しいウェブアクセス検索機能・Windows Vista, Windows 7 and Windows Server 2008/R2 へのパケットスプーフィングサポートの追加
- シスログウェブアクセスへのクイックフィルタリング機能追加
- Kiwi シスログセットアップに"Product Updates (製品更新) "セクションを追加

変更：

- Kiwi シスログウェブアクセス ログコンポーネントのアップグレード
- Winsock コンポーネントの配置を登録不要の COM に変更
- メッセージバッファーサイズを 20,000 から 500,000 に増量
- Kiwi シスログウェブアクセス v1.2.0 診断レポートへ Web アクセスデータソースのサイズ情報を追加
- デフォルトの「再起動時のメッセージを保持する (Retain messages between restarts) 」の挙動を変更
- ウェブアクセスインストーラーから Kiwi シスログウェブアクセスホストファイルアディクションを削除

修正：

- ディスプレイグリッドの TAB と CRLF 置換を修正
- Kiwi Syslog Server NT イベントログソース登録バグの修正
- シスログメッセージ内のヌルキャラクターが Web アクセスへのログインを失敗させる問題の修正
- インストール間にウェブアクセスログインルールが正しく作成されない問題の修正
- 「ログトゥーファイル」アクションファイル名欄のための検証を改善
- スプーフィングされたメッセージの転送に関するパフォーマンスの問題の修正
- デフォルトゲートウェイの IP アドレスを判断できない通知が記録されます
- ユーザーがハイライトインテグレーションを持たないウェブアクセス未処理の例外を修正
- ウェブアクセスインストーラー HTTP ポート復帰問題の修正

- ログインゲートウェイウェブアクセスのセキュリティー脆弱性を修正
- メールアドレスの妥当性チェックを追加
- 月の"Last"day にスケジュールをセットできてしまうという誤解を招きやすい機能を削除

## 注意事項：

- Kiwi Syslog Server v9.0.4 with Web Access 1.1.0
- 製品更新通知を追加

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

**Kiwi Syslog Server v9.0.3** 2009-07-21

## 機能追加：

- "Log to Web Access"アクションの追加
- Kiwi シスログウェブアクセスインストーラーを統合

[Kiwi Syslog Server リリース情報ページトップへ↑](#)

**Kiwi Syslog Server V8****Kiwi Syslog Server v8.3.52** 2009-02-12

## 変更：

- SolarWinds に商標を変更

## 修正：

- テックサポート作成問題の修正

## 注意事項：

- Kiwi Syslog Server 8.3.52 Final

**Kiwi Syslog Server v8.3.49 ベータ** 2008-12-04

## 修正：

- シスログメッセージ長修飾子の最大許容値メッセージプロンプトの修正
- メールサーバ 421 (サービスの伝送チャネルの閉鎖) とハード切断を受けた後のシスログメールクライアント再接続の問題の

## 修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.48 ベータ** 2008-12-03

## 注意事項：

- Kiwi Syslog Server 8.3.48 最終版

**Kiwi Syslog Server v8.3.47 ベータ** 2008-10-08

## 修正：

- シスログメッセージが空白または改行文字を含んでいない時のワードラップ表示問題の修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.46 ベータ** 2008-09-30

## 変更：



- ・最大メッセージカウントのアラームの値が 5,000,000 に増加

修正:

- ・ダブルバイトシステムでの DNS パケットデコーディングの不具合を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.44 ベータ 2008-09-11**

修正:

- ・"起動時にシステムトレイに最小化"がセットされデフォルトのウィンドウモードが最大化に設定された時、システムトレイアイコン表示に不具合が発生する問題を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.43 ベータ 2008-09-10**

機能追加:

- ・スケジュールタスクに仏暦の日付のサポートを追加

**Kiwi Syslog Server v8.3.42 ベータ 2008-09-09**

機能追加:

- ・メッセージキューオーバーフローのアラームが追加

**Kiwi Syslog Server v8.3.41 ベータ 2008-09-08**

修正:

- ・無効なタグの識別子を無視するように RFC - 3164 ヘッダの構文解析を改良

**Kiwi Syslog Server v8.3.40 ベータ 2008-09-08**

注意事項:

- ・Kiwi Syslog Daemon v8.3.40 最終版

**Kiwi Syslog Server v8.3.39 ベータ 2008-09-05**

機能追加:

- ・Windows hosts と Kiwi Syslog Daemon スタティック hosts ファイルの Unicode と UTF - 8 サポートの追加

**Kiwi Syslog Server v8.3.38 ベータ 2008-08-25**

変更:

- ・Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.142 にアップデート

修正:

- ・MSSQL シャットダウン中に MSSQL サーバーデータベースへログインするときの処理できない例外を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.37 ベータ 2008-08-22**

変更:

- ・Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.141 にアップデート

修正:

- ・スケジュールアーカイブタスクから外部プログラムを実行する場合、zip オプションが指定されていない時発生する不具合の

修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.36 ベータ 2008-08-21**

機能追加:

- ・SNMP 入力用の複数の bind-to アドレスのためのサポートを追加

修正:

- ・データベーステストサービスコマンドのタイムアウトエラー報告の修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.34 ベータ 2008-08-12

機能追加:

- ・ログファイルローテーションとパケットスプーフィングのための"登録のみ"機能通知を追加

修正:

- ・スケジュールアーカイブタスクによって移動されたファイルをローテートしようとしたときのファイルローテーションでの未処理の例外を修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.33 ベータ 2008-07-31

機能追加:

- ・ツールバーに新しいエラーアラートアイコンが追加 DNS リゾルバーエラーロギング (パーサーエラー/不明なサーバー応答タイプ) の改善

修正:

- ・古いアーカイブをスケジュールタスクに変換するときの未処理の例外処理を向上。ホスト名情報をオーバーロードする DNS リゾルバ (パーサーエラー) の修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.32 ベータ 2008-07-08

修正:

- ・カスタム XML フォーマットログファイル出力に欠けた <Message> タグを追加

#### Kiwi Syslog Server v8.3.31 ベータ 2008-07-07

修正:

- ・LoadNewSettings.ini メソッドを使って Kiwi Syslog Daemon 設定をインポートする時の NULL 値の不適切な取り扱いを修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.30 2008-07-07

機能追加:

- ・拡張カスタム UDP パケットスプーフィングのデバッグが追加

変更:

- ・"Cache Failed DNS Lookups (失敗した DNS ルックアップのキャッシュ)"が設定されていても解析不能の DNS 応答がキャッシュされなくなりました。

- ・コマンドラインによるインストールと登録の自動化に関するヘルプファイルを更新
- ・TCP と KRDP のデフォルト設定を、TCP と KRDP の送信パフォーマンスを向上させるために変更
- ・新しい KRDPQueueSize、KRDPQueueMaxMBSize と KRDPsSendSpeed 設定のデフォルトのヘルプファイルを更新

修正:

- ・不十分な権限でデータベースのキャッシュファイルの削除をしようとしたときの未処理の例外を修正
- ・いくつかのアーカイブをスケジュールタスクに変換する際の未処理の例外を修正
- ・Log to Database アクションでのシングルクオートエスケープの修正 DNS 解決設定 GUI のインターフェースの不整合を修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.28 2008-05-26

注意事項:

・ Kiwi Syslog Daemon 8.3.28 最終版

#### Kiwi Syslog Server v8.3.27 ベータ 2008-05-08

変更:

- ・ Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.140 に更新
- ・ "Run program after each"アーカイブオプション"における遅い zip ファイルジェネレーションの修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.26 ベータ 2008-05-08

追加:

- ・ Syslogd\_Service.exe (と非サービス版を実行している場合の Syslogd.exe) のための追加のファイアウォール例外を追加

修正:

- ・ HTML ヘルプを開いているとき Kiwi Syslog Daemon マネージャを閉じるとクラッシュする問題を修正
- ・ 不適切なデータベース SQL ステートメントのリテラル文字 (¥) エスケープिंगの修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.25 ベータ 2008-05-06

修正:

- ・ デフォルトのハイライトルールの生成が失敗するバグを修正

#### Kiwi Syslog Server v8.3.24 ベータ 2008-05-05

変更:

- ・ Kiwi Syslog Daemon マネージャを起動するときの統計の初期化を修正

注意事項:

- ・ Kiwi Syslog Daemon 8.3.24 最終版

#### Kiwi Syslog Server v8.3.22 ベータ 2008-04-28

修正:

・ LogToFile アクションスクリプティングにおける未処理の例外を修正 INI ファイルが"Formats"セクションを含んでいない場合に発生するシスログの設定 INI ファイルのインポートエラーの修正

・ INI ファイルが"プロパティ"セクションを含んでいない場合に発生するシスログの設定 INI ファイルのインポートエラーの修正

注意事項:

- ・ 準備的なビルド

#### Kiwi Syslog Server v8.3.21 ベータ 2008-04-24

機能追加:

- ・ 反復データベースエラーロギングの抑制を追加

変更:

・ Log to Database テスト機能がマネージャではなく Kiwi Syslog Daemon サービス使用するように変更: Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.134 にアップデート

修正:

- ・ データベースロガーで不当なプロバイダのバグを修正
- ・ 不適切なデータベースキャッシュのページ動作を修正
- ・ データベースロガー (Log to Database アクション) 不正な形式の SQL 再試行ロジックの修正
- ・ スケジュールタスクの設定変更: 適用の矛盾を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.20 ベータ 2008-04-16**

## 機能追加:

・レジストリに'EnableArchiveTempFile' 設定を追加アーカイブ先のパスが存在しない場合は、アーカイブ先のパスを作成するためのサポートが追加

## 変更:

・ Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.114 に更新

## 修正:

・ 2GB より大きいログファイル をローテートさせる場合の未処理の例外を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.19 ベータ 2008-04-15**

## 機能追加:

・ Kiwi Syslog Daemon を 8.3.x 以前の圧縮名規則に戻すレジストリ設定 "UseOldArchiveNaming"を追加デフォルトのアーカイブテンプレートディレクトリ (C:¥Windows¥Temp)を上書きするレジストリ設定" 'ArchiveTempPath' を追加

## 変更:

・ Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.112 に更新

## 修正:

- ・ メール送信キャンセル時の未処理の例外を修正
- ・ "Run-Program-After-All" アーカイブタスクの変数受け渡し (%FileZipShort and %FileZipLong)の修正
- ・ 100 ルールコピー & ペーストの制限を除去

**Kiwi Syslog Server v8.3.18 ベータ 2008-04-02**

## 機能追加:

- ・ 拡張スケジュールタスク スレッドクリーンアップロギングを追加
- ・ データベースキャッシュを無効にする新しいレジストリ設定を追加

## 変更:

・ 新しいレジストリ設定 (Database Logger - Disable database cache)のヘルプファイルを更新

**Kiwi Syslog Server v8.3.16 ベータ 2008-03-12**

## 機能追加:

・ データベースロガーにタブセーフサポートを追加

## 変更:

・ Syslogd\_TaskEngine がバージョン 2.5.105 に更新

## 修正:

・ 古いアーカイブをスケジュールタスクに変換する際の未処理の例外スケジュールタスクの run-now レポート生成における未処理の例外を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.15 ベータ 2008-03-03**

## 修正:

・ チェックボックスの位置を計算するときのプロパティウィンドウでの未処理の例外を修正

## 注意事項:

・ Kiwi Syslog Daemon 8.3.15 最終版

**Kiwi Syslog Server v8.3.14 ベータ 2008-02-28**

## 機能追加:

- ・ DartZip.dll のコンポーネントを削除

## 修正:

- ・ INI ファイルのエラーからバージョン 7.x のインポート設定を修正
- ・ Log-to-file アクション Win32File オブジェクトのエラーログから余分な復帰と改行文字を削除
- ・ デコードとファイルへの書き込みに何もデータが存在しないときの未処理の例外を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.13 ベータ 2008-02-15**

## 機能追加:

- ・ ディレクトリが見つからない場合の Syslogd¥DBCACHE 作成が追加

## 修正:

- ・ ログファイル名に置換変数を使用するときのログファイルローテーションのバグを修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.12 ベータ 2008-02-13**

## 変更:

- ・ Syslogd\_TaskEngine.exe がバージョン 2.5.104 に更新

## 修正:

- ・ スケジュールタスクにおけるファイルマスク一致のバグ修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.11 ベータ 2008-02-12**

## 機能追加:

- ・ MIB ダウンロードページに Kiwi- enterprises.mib が追加
- ・ スケジュールタスクイベントにデバッグロギング機能を追加

## 変更:

- ・ kiwiTrap OID bindings に "Send SNMP Trap" アクションをデフォルトに変更

## 修正:

- ・ File > Setup > Defaults/Import/Export メニューのページの不正なダイアログタイトルを修正
- ・ フリーウェアモードでスケジュールアーカイブタスクを実行しているときの誤解を招く "Registered scheduled archive task..." エラーメッセージを削除
- ・ "run scheduled task now" レポートの生成時に発生するパスが見つからないエラーの修正
- ・ Syslogd\_TaskEngine (スケジュールアーカイブタスク)における国際的な日付と時刻のシリアライゼーションバグの修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.10 ベータ 2008-02-04**

## 変更:

- ・ パロウズウィーラー (非標準 BWT/BZip2 実装) を削除

## 修正:

- ・ ダウングレードする際 Syslogd\_TaskEngine.exe を上書きするようにインストーラーを修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.9 ベータ 2008-02-04**

## 機能追加:

- ・ スケジュールアーカイブタスクによって生成された zip ファイルにオプションパスの保存のためのサポートを追加
- ・ 拡張された処理先のファイルとフォルダの日付書式設定オプションを追加
- ・ インストールプロセス中にサービスとして、ドメインアカウントのログオンのサポートが追加

## 変更:

- ・ Syslogd\_TaskEngine がバージョン 2.5.103 に更新
- ・ "Hour(s)"ではなく"Day(s)"を含むように、ファイルエイジドロップダウン、ソースの場所のファイルオプション、スケジューラタスクを修正
- ・ 暗黙の OR 演算を処理するように正規表現フィルターテストを修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.8 ベータ** 2008-01-25

## 機能追加:

- ・ 変数リストに %MsgIPAddr を追加

## 修正:

- ・ ダブルバイトシステム用の RC4 暗号化モジュール内の未処理のオーバーフロー例外を修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.7 ベータ** 2008-01-22

## 注意事項:

- ・ Kiwi Syslog Daemon 8.3.7 最終版

**Kiwi Syslog Server v8.3.6 ベータ** 2008-01-18

## 変更:

- ・ Syslogd\_TaskEngine がバージョン 2.5.97 に更新

## 修正:

- ・ アーカイブスケジュールタスク中にローカルからリモートドライブにファイルを移動する際のファイルコピーエラーを修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.5 ベータ** 2008-01-17

## 修正:

- ・ スケジュールタスク通知を送信しようとする際の SMTP AUTH バグを修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.4 ベータ** 2008-01-18

## 注意事項:

- ・ Setup > Defaults/Import/Export > Export Settings におけるスケジュールタスク欠落のバグを修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.3 ベータ** 2007-12-13

## 機能追加:

- ・ インストーラーにサービスインストール/スタート障害通知を追加

## 修正:

- ・ ネットワークアダプタのサマリー情報生成 (Action: Forward to another host)のバグを修正
- ・ ネットワークアダプタのサマリー情報 有効/無効のバグを修正
- ・ スケジュール例外範囲を確認するバグの修正

**Kiwi Syslog Server v8.3.2 ベータ** 2007-12-03

## 機能追加:

- ・ データベースキャッシュのパージ機能
- ・ 「Forward to Another Host」アクションに、ネットワークアダプタの概要情報を付加

## 変更:



- ・現存するアーカイブタスクが、スケジューラに移動された場合、「サブフォルダを含める」オプションをデフォルトでは off に
- ・「Log to ODBC Database」アクションで、DSN を構築する際に OLEDB データリンクをウィザードで使用するように変更
- ・デフォルトの「Log to ODBC Database」アクションを、新たな DB ロガー(Syslogd\_TaskEngine)に置き換え
- ・Create Tech Support」メニューを、File メニュー配下に移動
- ・インストール時、サービスを自動でインストールするようインストーラを変更
- ・管理画面より、「Install/Uninstall」メニューを削除

修正:

- ・DNS による名前解決で、サービス再起動しないと正しく反映されない不具合
- ・スケジューラの、実行頻度で「minute」を指定した場合、実行されるべき間隔が正しくない場合がある不具合
- ・スケジューラの、「Fileage」をチェックする際の、日付範囲指定に関するバグ
- ・日次統計 E メールが、正しく作成・送信されない不具合

### Kiwi Syslog Server v8.3.1 ベータ 2007-10-02

修正:

- ・スケジューラの「プログラム実行」あるいは「スクリプト実行」タスクより送られてくる通知メールの「処理されていない例外」不具合

### Kiwi Syslog Server v8.3.0 ベータ 2007-09-25

機能追加:

- ・「Log to File」アクションに、ログローテーションオプション追加
- ・アーカイブ機能を、新たなスケジューラにて置き換え
- ・新たな実行ファイル"Syslogd\_TaskEngine.exe"

変更:

- ・メールログを、ISO 日付フォーマット使用へ
- ・ショートカットのアイコンを刷新

修正:

- ・大きなログファイル向けの Log to File アクションテスト機能(従来は 16TB まで)
- ・ログファイルが生成されるたび、全ファイルのタイムスタンプが現在のシステム時刻に置き換わってしまう不具合
- ・プロティウインドウのちらつきを修正
- ・DNS ホスト名ファイル解析で、連続タブの読み込み可能に
- ・サービス起動時のレスポンス向上
- ・TCP KRDP の「Keep Alive」バグ

### Kiwi Syslog Server v8.2.20 ベータ 2007-07-02

修正:

- ・Vista DEP<sup>※8</sup> の非互換性

※8DEP Data Execution Prevention

### Kiwi Syslog Server v8.2.19 ベータ 2007-06-27

変更:

- ・16 進法文字で、"Null"(x00)が有効となるよう修正

修正:

- ・実行されたことのないスケジュールのプロパティで、「処理されていない例外」が発生する不具合

**Kiwi Syslog Server v8.2.18** 2007-06-12

## 機能追加:

- ・WinPCap 初期化に失敗した際のロギングをさらに詳細に

## 修正:

- ・WinPCap 初期化およびアダプター列挙の際の、「処理されていない例外」不具合

**Kiwi Syslog Server v8.2.17** 2007-06-05

## 注意事項:

- ・8.2.17 フルリリース
- ・著作権情報を更新

**Kiwi Syslog Server v8.2.16 ベータ** 2007-05-21

## 修正:

- ・Win32 ファイルの API エラーの列挙とロギング
- ・パケットスプーフィングする際の、あて先ポートのサポート

**Kiwi Syslog Server v8.2.15 ベータ** 2007-05-17

## 変更:

- ・パケットをスプーフィングする際に、異なるネットワーク上に送る場合、デフォルトゲートウェイ のサポートを追加
- ・ヘルプファイルの更新(サイレントインストール<sup>※7</sup>の注記)

<sup>※7</sup>サイレントインストール インストール開始後、GUI で対話式に設定やパラメータを入力していく操作を排除した自動インストール

**Kiwi Syslog Server v8.2.14 ベータ** 2007-05-17

## 修正:

- ・UDP パケットのスプーフィングにおいて、完全修飾ドメイン名から IP アドレスへ変換する際のバグ

**Kiwi Syslog Server v8.2.13 ベータ** 2007-05-16

## 変更:

- ・全てのパスワードを暗号化

## 修正:

- ・スクリプトが編集された際の、スクリプト変更:アプリ
- ・システムトレイのコールバックのエラー処理
- ・Syslog プライオリティに有効な値が入っていないときに「処理されていない例外」が発生する不具合

**Kiwi Syslog Server v8.2.12 ベータ** 2007-03-29

(記述無し)

**Kiwi Syslog Server v8.2.11 ベータ** 2007-03-29

## 機能追加:

- ・WinPCap 3.0+<sup>※6</sup>のカスタム UDP パケット転送サポート

<sup>※6</sup>ネットワーク上を流れるパケット分析ソフト

変更:

- ・ "Forward Syslog Message" プロパティ内、追加のパケットスプーフィングオプション

#### Kiwi Syslog Server v8.2.10 ベータ 2007-03-27

修正:

- ・ レジストリで if >100 rulecount を指定した時、プロパティ/設定 ウィンドウで 100 より多いルールが追加できない問題を修正

#### Kiwi Syslog Server v8.2.9 ベータ 2007-03-26

機能追加:

- ・ アラームのキャンセル方法として、ESC キーのサポート

修正:

- ・ "Import Settings"のダイアログ誤植
- ・ DNS キャッシュに、(本来サービス起動時に読み込む)静的設定ファイルを読み込んでしまう不具合
- ・ メッセージが ANSI コードと誤って復号されてしまう不具合

#### Kiwi Syslog Server v8.2.8 2007-03-06

注意事項:

- ・ Kiwi Syslog Daemon 8.2.8 フルリリース

#### Kiwi Syslog Server v8.2.7 ベータ 2007-02-28

修正:

- ・ Display 画面の、07~10 番における不具合

#### Kiwi Syslog Server v8.2.6 ベータ 2007-02-28

修正:

- ・ Tech support File の、ZIP で圧縮中に生じる「処理されていない例外」エラー
- ・ 対象ファイルが 4GB 以上の場合、API の EOF を検索する際のエラー

#### Kiwi Syslog Server v8.2.5 2007-02-05

注意事項:

- ・ Kiwi Syslog Daemon 8.2.5 最終版

#### Kiwi Syslog Server v8.2.4 ベータ 2007-02-01

修正:

- ・ Run Program Action における、ハンドルリーク<sup>\*5</sup>の改善
- ・ メール送信における、「タイプミスマッチ」エラー

<sup>\*5</sup>ハンドルリーク ハンドル(アプリケーション開発者が、API を介して、ファイル等のオブジェクトを操作する際に Windows から与えられる権限のようなもの)の開放忘れのために、システムに無駄なリソースが蓄積してしまい、パフォーマンスを著しく損ねる現象

#### Kiwi Syslog Server v8.2.3 2007-01-24

修正:

- ・ スクリプト "ActionSendEmail" にて、メールの重要度のフラッグを検知できなかった際の不具合

**Kiwi Syslog Server v8.2.1 2007-01-08**

## 機能追加:

- ・ e メールログファイルのローテーション、上限 1MB

## 修正:

- ・ トップ 20 ホストレポート、集計の不具合

**Kiwi Syslog Server v8.2.0 ベータ 2006-12-12**

## 機能追加:

- ・ 全く初めてのインストレーションの場合、KiwiSyslog サービスがデフォルトのルールを書き込む機能
- ・ エラーログの最大容量を 1MB ととし、超えた場合はローテーション
- ・ ロングファイル(最大 16TB まで)のサポート
- ・ ファイルメニューに、"Cerate tech-support File(Zip)" を追加
- ・ ログのビューイングに、ハイライトオプションを追加
- ・ Setup に、メール送信のデフォルトプションを追加(Importance、priority、sensitivity)
- ・ メール送信アクションに、オプションを追加(Importance、priority、sensitivity)
- ・ ファイルメニューに、設定ファイルのインポート機能を追加
- ・ 表示メニューに、コンソール画面の列の表示・非表示切り替えを追加
- ・ 編集メニューに、"Copy selected items as HTML" を追加
- ・ サービスが e メールキューのページをする機能
- ・ 同じく、メッセージキューのページをする機能

## 変更:

- ・ ヘルプファイルの更新・・・"Create Tech support File"、"Mail Delivery Options"、"Mail Action"

## 修正:

- ・ インプットソースフィルター、「keep-alive」に関するバグ
- ・ ディスプレイのドロップダウンに関するバグ
- ・ DNS の CNAME<sup>※4</sup> に対する不正なハンドリングの修正
- ・ インポートする設定(.INI)ファイルのサイズが大きい場合の、バッファオーバーラン修正
- ・ ハイライティングを実行中のアイコンが、Icons フォルダから移動された場合に誤った先を参照する不具合
- ・ 設定ファイルインポートの際、不正確に適用されてしまう不具合
- ・ 設定ファイルインポート中に、プロパティウインドウが閉じてしまう不具合
- ・ Windows9x および Me において、設定ファイルをインポートして適用させる際の不具合

※4CNAME DNS サーバーが保持する情報の 1 種。ホスト名の別名を参照してきた場合に、CNAME 情報を基に本来のサーバー名を返し、クライアントが正しい先を参照できるようにする

**Kiwi Syslog Server v8.1.9 ベータ 2006-10-16**

## 機能追加:

- ・ SNMP のトラップをデコードする際、V1 の特殊なトラップ名のサポートを追加
- ・ カスタム形式のオリジナルアドレスのスタート・エンドタグのサポート追加

## 変更:

- ・ Setup 画面の、SNMP、"tagging"のデフォルト値を "OID=Vlaue"に変更
- ・ 同じく、"Show raw OID and value" のチェックを、デフォルトでは無しに変更

## 修正:

- ・ シスログ統計のレポート概観を修正

**Kiwi Syslog Server v8.1.6** 2006-10-03

修正:

- ・スクリプトの辞書ファイルにアクセスする際、定義されていない変数を使おうとすると「ミスマッチ」エラーとなる件

**Kiwi Syslog Server v8.1.5 ベータ** 2006-09-26

機能追加:

- ・Windows の hosts ファイルサポート(スペース区切り)

修正:

- ・DNS キャッシュに、Windows の hosts ファイルを読み込んでしまう不具合

**Kiwi Syslog Server v8.1.4 ベータ** 2006-09-20

機能追加:

- ・レジストリにメールログフォルダー設定の情報を記録できる機能。これによりデフォルトの格納場所から変更が可能に
- ・マルチモニター環境において、メインウィンドウが常に表示されているようにコードを追加
- ・インプットソースフィルターに、keep-alive を追加
- ・DNS キャッシングと外部プログラム実行の、セットアップ画面のタブ順序修正

変更:

- ・ヘルプファイルの更新・・・「Action」の「Run Program」、SNMP MIB データベースのファイル名
- ・診断レポートより、スレッド数項目を削除(妥当性をすでに欠いていたため)

修正:

- ・アーカイブレポートにおける、ファイルサイズオーバーフロー不具合
- ・Setup 画面の、テストメッセージタブ順序修正
- ・DNS の先取りルックアップ有効時、緩やかなメモリリークが発生していたのを修正
- ・診断レポート上の「Log to File」アクションのエラー数不具合

**Kiwi Syslog Server v8.1.3** 2006-08-31

修正:

- ・エラーログにデバッグ情報を書き込む際の不具合

**Kiwi Syslog Server v8.1.2** 2006-08-30

修正:

- ・閾値フィルターの、タイマーオーバーフロー不具合

**Kiwi Syslog Server v8.1.1 ベータ** 2006-08-25

修正:

- ・複数ホストのログ収集における、閾値フィルターのバグ

**Kiwi Syslog Server v8.1.0 ベータ** 2006-08-23

機能追加:

- ・バージョン 8.1 の新たな MIB データベースおよび OID リゾルバーの実装
- ・"RunScript"アクションにおける、新たなスクリプト辞書<sup>※3</sup>クラスを実装

<sup>※3</sup> キー項目と実際の値を対にしてストアし、スクリプト中でキー項目から値を呼び出すための辞書

変更:

- ・スクリプトのデバッグテキストにて、入力されたオブジェクト変数を正しく表示させるよう機能改善

## 修正:

- ・テストメッセージ送信で、TCP と SNMP を受け付けない不具合
- ・テストメッセージのソースをレジストリに保存しない不具合
- ・DNS ドメイン解読における不具合

**Kiwi Syslog Server v8.0.13**      2006-08-11

## 修正:

- ・NetBios のクエリーモジュールで、処理されていない例外が発生する不具合

**Kiwi Syslog Server v8.0.12**      2006-08-09

## 機能追加:

・Windows コントロールパネルの、「プログラムの追加と削除」からのインストール/アンインストールをサポートする情報を追加

・DNS Cache 設定の"Clear All"が、本来はキャッシュを削除するところを、hosts ファイルを読み込んでしまっていたのを修正

## 修正:

・DNS Cache の"Clear"ボタンが、本来動的に設定された値のみを削除すべきところ、全てのキャッシュ値をクリアしてしまうバグ

**Kiwi Syslog Server v8.0.11 ベータ**      2006-08-09

## 修正:

- ・無効、あるいは不完全なドメイン名を DNS サーバが返してきた場合に「処理されていない例外」になってしまう不具合

**Kiwi Syslog Server v8.0.10 ベータ**      2006-08-08

## 変更:

- ・"Cache failed lookups"の設定保存先を、レジストリに変更:、関連するヘルプも更新

**Kiwi Syslog Server v8.0.9**      2006-08-03

- ・前バージョンからアップグレードした際の、DNS 設定に関するバグ

**Kiwi Syslog Server v8.0.8**      2006-08-01

- ・ベータ版でない公式リリース

**Kiwi Syslog Server v8.0.7 ベータ**      2006-07-27

## 機能追加:

- ・ログソースのフィルターおよび関連するヘルプファイル
- ・閾値フィルターを、複数ホストにサポート、および関連するヘルプファイル
- ・外部プログラム起動アクションに、優先度およびウインドウモード設定を追加、関連するヘルプファイルも更新

## 変更:

- ・SMTP アセンブルをアップグレード
- ・コモンダイアログコントロール(Common Dialog.OCX)への依存性修正
- ・インストールファイルのユーザーインターフェイス更新

## 修正:

・DNS による解決の、先取りルックアップ(ログメッセージをキューに入れるより先に、IP アドレス部分を抽出する)のパフォーマンス強化

- ・カスタムデータベースフォーマットの、ソート順に関するバグ
- ・Windows Vista のテーマ下におけるバグ
- ・ディスクスペース 모니터の、外部プログラム起動アラームに関するバグ

#### Kiwi Syslog Server v8.0.6 ベータ 2006-07-06

機能追加:

- ・「高度な設定」に、Syslog 処理優先度を追加
- ・Setup > Alarm > Disk Space Monitor において、"Run external Program"のフルサポート開始
- ・新たな DNS/NetBios 名前解決モジュールの実装
- ・Cache failed lookups<sup>※2</sup> オプションを追加
- ・DNS サーバアドレスの自動検知機能追加:

※2IP アドレスのホスト名解決のため DNS ルックアップをしたが有効な値が DNS サーバから返ってこなかった場合

変更:

- ・日次分析レポートメール送信の、subject(件名)欄
- ・DNS/NetBios 設定とセットアップを含む、ヘルプファイルの内容

#### Kiwi Syslog Server v8.0.2 2006-05-03

修正:

- ・少量メモリ環境下における、"Log to File"アクションのパフォーマンス改善
- ・少量メモリ環境下における、バイトエンコーディングのエラー修正
- ・値が MAC アドレスの場合の、SNMP 変数の処理改善

#### Kiwi Syslog Server v8.0.1 2006-04-03

ベータ版ではない、初の Ver8 公式リリース

#### Kiwi Syslog Server v8.0.0 ベータ 2006-03-22

機能追加:

- ・Win XP テーマのサポート
- ・インストールファイルに、ショートカットに関する設定を追加。全てのユーザーに、デフォルトでショートカット作成を適用
- ・ヘルプファイル更新
- ・UDP/TCP データエンコードに関して
- ・UDP/TCP/SNMP インプットの際の、IP アドレスバインドに関して

修正:

- ・XP テーマにおける、画面サイズ変更:の不具合
- ・"COMCTL32.OCX" から、"MSCOMCTL.OCX" に移行。インストールファイルのサイズを縮小し、XP のテーマ環境で、より快適な動作を実現
- ・イタリアンシステム上で、MySQL に時間フィールド値を挿入する際の不具合
- ・TCP リスナーを無効にする恐れのあるバグ
- ・SMTP のメール送信プロトコルに、エラー回復のコードを追加
- ・プロパティ設定画面を最小化して元に戻す際の不具合
- ・KRDP<sup>※1</sup> と、TxFIFO の情報を保持しておくように、サービスシャットダウン時のプログラムを改良
- ・カスタムファイルフォーマットにおける、タイムゾーンの不具合
- ・XML 形式の出力ファイルにおける、"&"のエスケープ文字



※<sup>1</sup>Kiwi Reliable Delivery Protocol TCP パケットのカプセルに、さらに独自のカプセルを付加、ユニークな番号を付番し、障害時のログ損失を防ぐ(TCP によるログ転送時のみ)

発行日 2024 年 6 月 28 日

出典:

[https://documentation.solarwinds.com/en/success\\_center/kss/content/release\\_notes/kss\\_9-8-3\\_release\\_notes.htm](https://documentation.solarwinds.com/en/success_center/kss/content/release_notes/kss_9-8-3_release_notes.htm)

ジュピターテクノロジー株式会社

Copyright © 2024 ジュピターテクノロジー株式会社 All Rights Reserved